

奄美・琉球の比較対象候補地の選定について（案）

- 比較解析では、奄美・琉球の該当性を提案するクライテリア(ix)および(x)の観点から、Udvardy (1975)の生物地理区分を用いて植物相・動物相・生態学的根拠に基づく「地区(province)」を対象として、同一地区内で比較することが望ましい。
- しかし奄美・琉球は、独立性の高い「琉球諸島地区」に含まれるため、主要植生の型と気候を組み合わせた「群系(Biome)」で比較することとし、以下の条件から比較対象候補地を抽出した。

- | |
|---|
| <p>A) 奄美・琉球と同一群系の「島嶼混合系」に属する世界遺産地域</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 島の成因（「大陸島」か「海洋島」に区分） ii. 緯度（北緯・南緯 20～30 度を目安に「同緯度」と「低緯度」に区分） <p>B) 「亜熱帯・温帯雨林」群系に属する世界遺産地域</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 亜熱帯雨林の成立場所（「島嶼」と「大陸内部」に区分し、大陸内部は対象外） <p>C) 「島嶼混合系」以外の群系に属する島嶼の世界遺産地域（奄美・琉球と自然条件が大きく異なるものを除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 島の成因（「大陸島」か「海洋島」に区分） ii. 緯度（北緯・南緯 20～30 度を目安に「同緯度」と「低緯度」に区分） |
|---|

- その結果、比較対象候補となる島嶼の世界遺産地域で、奄美・琉球と同緯度帯にある大陸島が 4 件、低緯度帯にある大陸島が 9 件、同緯度帯にある海洋島が 9 件、低緯度帯にある海洋島が 9 件抽出された（表 1 参照）。

■ クライテリア (ix) : 「大陸島の地史と生物の固有化及び島嶼間の種分化」の価値の比較対象

- IUCN 専門家からは、亜熱帯の同緯度に位置する他の大陸島との詳細比較の必要性和、比較対象として「カリフォルニア湾の島々と保護地域群」、「カリブ海諸島」、「ニューカレドニア諸島」が示唆された。
- 既登録の世界遺産地域で大陸島は 13 件。うち奄美・琉球と同緯度帯の世界遺産地域は 4 件である。（表 1 参照）
- また、奄美・琉球より低緯度に位置する大陸島の世界遺産で、大陸からの分離期間と関連づけて価値を説明している物件では「コイバ国立公園（パナマ）」が挙げられる（表 1 参照）。
- これらの地域については以下の視点からの比較が必要と考えられる。
 - ①島嶼の形成過程、大陸からの距離・隔離年代、島の規模。
 - ②気候と植生タイプ。島嶼生態系としての特異性。生態系構成要素の多様性・複合性。
 - ③固有種の種数・固有種率。遺存固有や新固有の属・種・亜種などの具体的事例。
 - ④地域の保護管理状態。
 - ⑤生物地理区の代表性。地球規模での重要性¹。

■ クライテリア (x) : 「国際的希少種・固有種の生息地、世界的な生物多様性保全の上重要な地域」としての価値の比較対象

- 表 1 で比較対象候補として抽出した島嶼の世界遺産地域を対象に、種数、固有種数・率のデータが入手可能な物件を対象として、①資産全体の種数の比較を行い、その上で、②島嶼の成因（大陸島、海洋島）や気候条件（同緯度の亜熱帯地域、低緯度の熱帯地域）を考慮した詳細な比較が必要と考えられる。
- 必要に応じて、Redlist Index や、「かけがえのなさ指数」を用いる。

¹ 世界的な保全優先地域に含まれているか：コンサベーションインターナショナルの Biodiversity Hotspots、および High Biodiversity Wilderness Areas。WWF の The Global 200 (priority ecoregions)。バードライフ・インターナショナルの Endemic Bird Area。WWF/IUCN の Center for Plant Diversity。

表1 奄美・琉球の比較解析対象の候補となる島嶼の世界遺産地域(案)

成因	緯度	遺産地域名	クライテリア	面積(ha)*	Biome#
大陸島(13件)	同緯度(4件)	屋久島(日本)	(vii)(ix)	10,747	2
		カリフォルニア湾の島嶼と保護地域(メキシコ)	(vii)(ix)(x)	688,558	4,7
		アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園(キューバ)	(ix)(x)	71,140	13
		ニューカレドニアのラグーン:リーフの多様性とその生態系(フランス)	(vii)(ix)(x)	1,574,300	13
	低緯度(9件)	ソコトラ諸島(イエメン)	(x)	410,460	7
		プエルト・プリンセサ地下河川国立公園(フィリピン)	(vii)(x)	5,753	13
		トゥバダハ岩礁海洋公園(フィリピン)	(vii)(ix)(x)	130,028	13
		コイバ国立公園	(ix)(x)	270,125	4
		キナバル国立公園(マレーシア)	(ix)(x)	75,370	13
		グヌン・ムル国立公園(マレーシア)	(vii)(viii)(ix)(x)	52,864	13
		ロレンツ国立公園(インドネシア)	(viii)(ix)(x)	2,350,000	13
		ウジュン・クロン国立公園(インドネシア)	(vii)(x)	78,525	13
		コモド国立公園(インドネシア)	(vii)(x)	219,322	13
海洋島(18件)	同緯度(9件)	マデイラ諸島(ポルトガル)	(ix)(x)	15,000	13
		ガラホナイ国立公園(スペイン)	(vii)(ix)	3,984	13
		小笠原諸島(日本)	(ix)	7,939	13
		パパハナウモウケア(アメリカ)	(iii)(vi)(viii)(ix)(x)	36,207,499	13
		モーン・トロワ・ピトン国立公園(ドミニカ共和国)	(viii)(x)	6,857	13
		ピトンズ・マネジメント・エリア(セントルシア)	(vii)(x)	105,838	13
		ヘンダーソン島(イギリス領太平洋)	(vii)(x)	3,700	13
		フレーザー島(オーストラリア)	(vii)(viii)(ix)	184,000	1
		ロード・ハウ諸島(オーストラリア)	(vii)(x)	146,300	13
	低緯度(9件)	南ラグーンのロックアイランド群(パラオ)	(iii)(v)(vii)(ix)(x)	100,200	13
		ココ島国立公園(コスタリカ)	(ix)(x)	199,790	13
		マルペロ動植物保護区(コロンビア)	(vii)(ix)	857,500	13
		ガラパゴス諸島(エクアドル)	(vii)(viii)(ix)(x)	14,066,514	13
		フェニックス諸島保護地域(キリバツ)	(vii)(ix)	40,825,000	13
		ブラジルの大西洋の島嶼:フェルナンド・ジのローニャ保護区とロカス環礁保護区(ブラジル)	(vii)(ix)(x)	42,270	13
		メイ溪谷自然保護区(セイシェル)	(vii)(viii)(ix)(x)	19	13
		アルダブラ環礁(セイシェル)	(vii)(ix)(x)	35,000	13
		東レンネル(ソロモン諸島)	(ix)	37,000	13

※: 世界遺産地域の面積は海域も含む。

: 2: 亜熱帯及び温帯雨林, 4: 熱帯乾燥林または落葉樹林, 7: 暖砂漠及び半砂漠, 13: 島嶼混合系